

課題番号：輸保貯-203

課題名	廃炉プロセス「輸送・保管・貯蔵（燃料に由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」 検討対象「安定状態の維持」 課題「冷却機能の維持」	時間軸情報	汚染水対策				
			使用済燃料プールからの燃料取り出し				
段階	Design		燃料デブリ取り出し				
			PCV/RPV/建屋の解体				
ニーズ	望ましい状態とその理由		輸送・保管・貯蔵		1		
			処理・処分・環境回復				
1	保管維持の燃料温度が上昇しないようにしたい。 ●取納缶からの自然放熱に加え、移送容器等のバスケットや施設内の空調等で周囲の温度環境を担保する。 ●取納缶は燃料デブリの温度を適切に維持し、保管施設は取納缶内部の燃料デブリの温度に影響を与えないことが要求される。 ●建屋温度の上昇事象時等においても取納缶内部温度が許容温度を超えることのない設計が求められる。		【実施されている研究課題】				
			廃炉・汚染水対策事業「燃料デブリ取納・移送・保管技術の開発（燃料デブリ取納缶の移送・保管に係る安全要件・仕様及び保管システムの検討、安全評価手法の開発及び安全性検証）」				
	輸保貯-201「保管容器健全性評価・管理技術の開発」 輸保貯-204「取納缶仕様の設計」 輸保貯-301「輸送・保管・貯蔵方法の検討」		【検討されている研究課題】				
			特になし				